

# 「黒谷和紙の型染展」

黒谷和紙の型染和紙の歴史は50年以上前、福知山市の染色家 金山ちづ子氏によってはじまりました。

それまでの黒谷和紙は、草木染や染料での単色の染や絞り染といったシンプルな染紙が定番でしたが、強靱な黒谷和紙に布の染色法として用いられていた「型染」を用いることによって、今までにない多彩な模様を染め分ける事ができるようになり、黒谷和紙の新たな可能性を生み出すこととなりました。

今回の型染展では、紙漉きの行程を黒谷和紙に型染で表現した本「紙漉き村 黒谷」(昭和47年ドイツの世界図書館展で「世界で最も美しい本」としてグランプリを受賞)をはじめ、過去の型染作品や金山氏の秘蔵品を一挙公開! その他、型染の歴史や製法など黒谷和紙の型染のすべてをご紹介します。



型染和紙を使った  
和紙人形

## 型染とは

日本の伝統的染色技法で、型を使い和紙に模様を施していく技法です。一枚一枚手作業で多くの行程を必要とします。



「紙漉き村  
黒谷」  
型染の本

## 販売コーナー

型染和紙を使用した小銭入れや集印帖などを販売します。  
その他、お買い得な黒谷和紙もいっぱい!

## 新商品発表

型染和紙を使ったファブリック  
ボードが初お目見え。

## 黒谷和紙工芸の里

〒629-1242 京都府綾部市十倉名畑町欠戸31  
TEL.0773-45-1056 (土日祝のみ9:00~16:30)  
入館料 大人 300円、子供(小学生~高校生)200円、幼児 無料

## 主催 黒谷和紙協同組合

平日の  
お問い合わせ先

黒谷和紙協同組合(黒谷和紙会館)  
〒623-0108 京都府綾部市黒谷町東谷3番地の1  
TEL.0773-44-0213(平日 9:00~16:30)

「黒谷和紙」は黒谷和紙協同組合の登録商標です。

## MAP

